

明石市公設地方卸売市場のあり方検討に向けたアンケート調査等の結果報告 及び今後の検討について

明石市公設地方卸売市場（以下「明石市場」という。）は、1977 年（昭和 52 年）の開場から 47 年が経過し、施設の経年劣化が進んでいるほか、近年の卸売市場を取り巻く環境が大きく変化し、取扱高は減少傾向となっています。

このような状況であることから、本市では、明石市場の現状や社会的役割等を踏まえた今後のあり方（再整備・移転・修繕等）の検討に着手することとしました。

今年度は、あり方を検討するために必要な基礎資料の収集及び作成を行うこととし、全国の卸売市場の現状や課題などの調査、明石市場の場内事業者を対象としたアンケート調査の実施などに取組みましたので、その結果を報告します。

1 アンケート調査等の実施状況

(1) アンケート調査

①調査対象者：明石市場内の全ての事業者 54 者

②調査期間：2024 年 9 月 26 日（木）～10 月 10 日（木）まで

※回答方法は調査票に記入又はWEBサイトからの回答

③主な調査内容：ア)明石市場内事業者の事業概要（従業員数、取扱商品、売上高等）

イ)明石市場内事業者の現在と今後の展望（経営状況、将来展望等）

ウ)明石市場内施設の使用状況

エ)明石市場のあり方（果たすべき役割、必要な取組、再整備等）

オ)明石市場の機能強化・施設整備等に関する自由意見

④回答状況：

対象者		事業者数	回答者数	回答率
卸売業者	青果	1 者	1 者	100%
	水産	1 者	1 者	100%
仲卸業者	青果	13 者	13 者	100%
	水産	15 者	15 者	100%
関連事業者		24 者	19 者	79.2%
合 計		54 者	49 者	90.7%

(2) ヒアリング調査

①調査対象者：明石市場内の青果・水産の卸売業者 2 者、仲卸業者の組合 2 者

明石市場内の関連事業者の組合 1 者 合計 5 者

②調査期間：2024 年 12 月 17 日（火）～2025 年 1 月 17 日（金）まで

- ③主な調査内容：ア)明石市公設地方卸売市場・場内事業者が直面する課題
 イ)明石市公設地方卸売市場の取扱量・取扱高の維持・拡大に必要な取組
 ウ)明石市公設地方卸売市場が担う役割
 エ)明石市公設地方卸売市場の強み・弱み

2 明石市公設地方卸売市場のあり方検討に向けたアンケート調査等の結果報告

- (1)別紙1「明石市公設地方卸売市場のあり方検討に向けた基礎資料（概要版）」
 (2)別紙2「明石市公設地方卸売市場のあり方検討に向けた基礎資料」

3 今後のスケジュール(案)

日 程	内 容
2025 年 4～5 月	・「明石市公設地方卸売市場のあり方検討委員会」（以下「検討委員会」という。）の構成委員の選定
6 月	・6 月議会の生活文化常任委員会において検討委員会設置の報告
9 月	・第 1 回検討委員会
10 月	・第 1 回分科会
11 月	・第 2 回検討委員会
12 月	・第 3 回検討委員会
2026 年 2 月	・第 4 回検討委員会
3 月	・3 月議会の生活文化常任委員会において検討状況の中間報告
5 月	・第 5 回検討委員会
6 月	・第 2 回分科会
7 月	・第 6 回検討委員会
12 月	・12 月議会の生活文化常任委員会において最終報告

※検討委員会の構成は、学識経験者 2 名、市場関係者 2 名、公募市民 2 名の合計 6 名を予定

※分科会は、明石市場の関係者への説明及び意見を聴取する場として設置する予定